

2023年4月17日

新宿区長宛て

団体名 169-0075
所在地 東京都新宿区高田馬場1-25-36
タイオーインターナショナルビルディング30C
(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウホウジンエガオサンサン
特定非営利活動法人えがおさんさん
代表者氏名 田中 歩 印

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 412,000 円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに〇をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に〇をしてください。)		
<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉	<input type="checkbox"/> 災害救援	<input type="checkbox"/> 情報化社会
<input type="checkbox"/> 社会教育	<input type="checkbox"/> 地域安全	<input type="checkbox"/> 科学技術
<input type="checkbox"/> まちづくり	<input type="checkbox"/> 人権擁護・平和	<input type="checkbox"/> 経済活動
<input type="checkbox"/> 観光	<input type="checkbox"/> 国際協力	<input type="checkbox"/> 職業能力開発・雇用機会拡充
<input type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ	<input type="checkbox"/> 男女共同参画	<input type="checkbox"/> 消費者の保護
<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/> 市民活動支援
<input type="checkbox"/> その他 ()		

事業計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人えがおさんさん</p>
<p>事業名</p>	<p>秋まつり（会場リアル参加午前、午後とオンライン別日予定）</p>
<p>① 事業目的・概要</p>	<p>ア 事業目的</p> <p>難病、医療的ケアなど、重い障がいのある子どもを育てるご家族には、発作など疾患や症状の理由や医療的ケア、また医療機器など必要な物品の多さとマンパワーの課題から外出へのハードルが高く、孤立しがちな背景がある。</p> <p>知的障がい、発達障がいを持つ子どももじっと座っていることが難しく、親御さん自身が安心して楽しめるイベント参加することは難しい。</p> <p>特にコロナ感染拡大以降その傾向は強まった。子どもの体調管理や日常の身体介護も安心して実施しながら参加できるイベント開催を目的とした。</p> <p>参加者の体調面を鑑み暑さ寒さの影響を受けにくい時期に開催を計画した。</p> <p>昨年度は、新宿区子ども家庭部子ども家庭課企画係より、新宿区子ども未来基金を頂き、会場の希望で人数制限を設定しつつ慎重にリアル開催を実施したところ、思った以上の参加数があり必要性を強く感じた。開催後参加者へのアンケートで3年ぶりの参加を喜ばれる声や初めて参加し他のご家族との交流を喜ばれる声が聞けたことより、今年はグレードを上げての開催を試みたい。</p> <p>イ 事業概要</p> <p>会場をお借りし、難病や障がい、また医療的ケアのある本人とご家族に法人の有志ボランティア事業で開催する秋まつりへ参加してもらう。</p> <p>【事業内容】</p> <p>室内（ホール）内でのお祭りの開催。</p> <p>外部依頼出演者、学生ボランティアによるショーなど出し物。</p> <p>縁日（ゲーム体験など）の開催。</p> <p>作業療法士によるスイッチなどおもちゃ等機器の体験ブース。</p> <p>【実施の手法】</p> <p>車いす、障がいのある子ども達の使いやすい会場を使用。</p> <p>専門の医療福祉職のスタッフ参加により安全の確保。</p> <p>学生ボランティアの参加（子ども達ご家族には好評です。）</p> <p>計画的な会議の設置により感染、安全対策を話し合いイベントを実施</p> <p>外部の映像技術者、音響担当者、出演者に参加を依頼。</p> <p>医療福祉職有志には企画から関わってもらい、ご家族ご本人の参加方法を検討してもらう。また学生ボランティアにも会場企画から関わってもらい、出し物、縁日を担当してもらう。</p>

<p>② 地域課題・社会的課題</p>	<p>障がいのある子どもたちは同じ地域で暮らしながら、日頃からそれぞれが離れた特別支援級や支援学校、また訪問級、また通所へ通われ、地域の人をはじめ、親同士が顔を合わす事も少ない。</p> <p>障がいのある子または人は、それぞれの障がい特性や疾患により、多動や不眠、発作、麻痺、呼吸困難などさまざまな症状があり、そのためにご家族はご家族だけでは抱えきれない養育、療育、介護（子育て）などケア上で、そして将来への不安など多くのストレスを抱えている。</p> <p>発作や呼吸困難、心臓の疾患などがある場合、ご本人の体調管理のハードルも高く安易に外出することはままならない。</p> <p>障がいのある子(者)のごきょうだいがいる家族は、当事者である子(者)のケアのためにそのきょうだいの地域参加に行かれない、時には親自身の通院さえままならない状況がある。</p> <p>知的障がい、発達障がい、また難病や重度心身障害や医療的ケアのある児者のご家族は夜も休めない状況にあることも多い。区内にはまだ医療福祉、教育等のサービスを十分に受けられていないご家族もいる。</p> <p>対応は多様で、個別性や専門性が求められるため、他者に依頼したくても難しい状況も多く、例え行先があっても（通園や通学、就労ができて）、親が付き添い、離れられないこともある。</p>
<p>③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p>I. イベント（会議）名：(秋まつり二部制)</p> <p>ア イベント（会議）の開催予定等</p> <p>活動内容：障がいのある児者とご家族、地域参加のお祭りを開催</p> <p>実施期間：R 5年 10月</p> <p>実施回数：(2) 回/年（リアル・オンライン）</p> <p>実施場所：オンライン1回・会場AM・PMの2回（区内の学校等 ）</p> <p>イ 対象者及び参加予定人数</p> <p>対象者：障がいのある児者とご家族、地域</p> <p>参加予定人数： のべ(200)名</p> <p>ウ 周知</p> <p><媒体></p> <p><input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> HP <input checked="" type="checkbox"/> その他(SNS)</p> <p><周知先></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 区施設(あいあい・新宿養護学校) <input type="checkbox"/> 区直営掲示板</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</p> <p>団体構成員 (7) 名 講師等 (2～3) 名</p> <p>アルバイト () 名 ボランティア () 名</p>

	<p>II. イベント（会議）名：（ ）</p>
	<p>ア イベント（会議）の開催予定等</p> <p>活動内容：</p> <p>実施期間：R 年 月 ～ R 年 月</p> <p>実施回数：（ ）回／月・年</p> <p>実施場所：オンライン ・ 会場（ ）</p>
	<p>イ 対象者及び参加予定人数</p> <p>対象者：</p> <p>参加予定人数： のべ（ ）名</p>
	<p>ウ 周知</p> <p><媒体></p> <p><input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><周知先></p> <p><input type="checkbox"/> 区施設（特別出張所、地域センター等） <input type="checkbox"/> 区直営掲示板</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
	<p>エ スタッフ等人数（のべ人数を記載）</p> <p>団体構成員（ ）名 講師等（ ）名</p> <p>アルバイト（ ）名 ボランティア（ ）名</p>
	<p>ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉の専門職に参加依頼。学生ボランティアに参加依頼。 ・イベントの趣旨を説明、当日に向けて各イベントスタッフとの打ち合わせ、リスク管理会議を実施。 ・会場、出演者とすり合わせ。 ・前日より会場をお借りして準備。開催のイメージシミュレーションを図る。
	<p>イ 新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要備品（消耗品・感染症対応物品などの購入） ・児者（じしゃ）の様子を理解、対応が取れる医療福祉の専門職を配置 ・会場の窓を全開し換気を実施。各所に衛生、消毒のグッズを設置。会場設営への工夫もする。 ・参加者に対して、対応可能な最低限のスタッフ人数を確保。柔軟な対応に備える。
	<p>④ 安全対策等 （箇条書きで ご記入ください）</p>

⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果	
	<p>新宿区にはさまざまな人達が生活している。その中に、障がいのある子どもや大人も生活している。活動を通し、区民の方々にも、地元で生活するそのような子ども達（人達）やご家族のことも知って頂く。 活動を通し、当該者家族同士のつながりをつくる。また、区内の潜在的な当該者、家族を拾いたい。 支援に関心のあり人の活動参加の機会にもしていきたい。</p>	
⑥ 先駆性・専門性	イ 現状や課題に対する成果・効果	
	<p>家族だけでは抱えきれない養育、療育、介護（子育て）のストレスをイベントを通して発散して頂く。家族介護を負担しているご家族が喜ばれると当該者、ごきょうだいにも安心感や笑顔が見られる。この機会にご家族、親同士の交流により孤立対策を図る。親、家族同士の交流を重視しつつ、看護・リハビリ、介護、保育士、指導員等専門家とのつながりを通じ、子育て、家族介護の困りごとを相談。解決への糸口となる。 学生ボランティアとの関わりはご家族にとって大きな希望、楽しみになってきた。普段関わる機会の少ない学生との交流も期待する。</p>	
⑦ 今後の展望	<p>当法人（えがおさん）は1995年ころより任意団体として活動を開始し新宿区を中心に、多くの難病やまた人工呼吸器など医療的ケアのある障がいのある児者とごきょうだい、ご家族の支援をしてきた。社会の中で認知されにくく孤立しがちな立場にある中で、当該者、ご家族はコロナ感染症拡大により、更に閉鎖的な状況に追い込まれざるを得なかった。当該者、ご家族のつながりや交流を復活させたい。</p> <p>イベントを通して多くの区民の交流を図り、顔の見えるつながりを構築。孤立化閉鎖化を改善する。 親、ご家族同士のピアサポートができるように支援。 また医療福祉の専門職へもつながり地域支援が受けられるよう支援。 学生との交流を通じて社会とのつながりを図る。 地域支援を受けられていないご家族も拾えるようにしたい。</p>	
⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度（令和 年）	事業名（ ）
	助成年度（令和 年）	事業名（ ）
	助成年度（令和 年）	事業名（ ）
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

<p>⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)</p>	<p>有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): 助成額: 円</p> <p>※新宿区以外の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</p>
--	--

収支予算書

		費目	予算額	内 訳
支 出 区 分	事 業 費	① 使用料及び賃借料	50,000 円	会場貸借費 ※区内の学校が借りられない場合
		② 消耗品費及び印刷費	20,000 円	文具:テープ、ペン 3,000 円 おむつ交換用の防水シート 10,000 円 ゲーム景品工作材料費 7,000 円
		③ 委託費	350,000 円	撮影:250,000 円 オンライン:100,000 円
		④ 講師謝礼	50,000 円	演者:5名/午前・午後2回分 1人10,000円×5名=50,000円
		⑤ その他謝礼	30,000 円	ボランティア30名×1,000円(交通費含む)=30,000円
		⑥ 交通費	円	
		⑦ 保険料	5,263 円	イベント保険 33円×150人=4,950円 振込手数料 313円
		⑧ その他諸経費	26,280 円	荷物運搬費 15,000円 チラシ等郵送費 94円×120人分=11,280円
		⑨ 新型コロナウイルス感染症対策経費	20,000 円	手指消毒:500円×50人=25,000円 手指消毒 1,000円×4個=4,000円 除菌ウェットティッシュ 1,000円×10個=10,000円 マスク(100枚)・2,000円 上限額20,000円の為、21,000円は助成対象外経費へ
		⑩ 人件費	57,000 円	団体構成員 7名×3,000円=21,000円 人件費 13名×2,000円=26,000円 音響ボランティア 2名 5,000円×2=10,000円
事業費 (①から⑩の合計)			608,543 円	
⑪ ファンドレイジングに関する経費			円	
⑫ 助成対象経費 (事業費+⑪)			円	
⑬ 助成対象外経費			21,000 円	⑨ コロナ対策経費上限超過分 21,000 円
事業総額			629,543 円	
収 入 区 分	内 容		予算額	積算根拠 (内訳)
	㊦ 事業収入 (参加費、資料代等)		円	
	㊧ 寄附金等		円	
	㊨ 補助金収入		円	
	㊩ 協働推進基金助成金		412,000 円	
	㊪ 団体負担金		217,543 円	
収入総額			629,543 円	